

5-4 下都賀地域（栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町）

(1) 農業水利施設の概要

本地域は県南部に位置し、平坦で広大な農業地帯では米麦作とともに、首都圏に近い立地条件を活かしたトマト・いちご・ぶどうなどの園芸作物栽培、肉用牛を中心とした畜産が盛んに行われています。

地域には、田川、姿川、思川、巴波川、永野川などの大小河川が流れ、これらの河川には数多くの頭首工が存在しています。また、下都賀地域の水田整備率は県平均を上回る約80%となっており、用排水施設は、圃場整備事業等の実施によって概ね整備が行われ、合理的な水利用が図られています。

一方、地域南部は長年にわたって湛水被害を受けてきた地域です。渡良瀬遊水地周辺には本地域特有の大規模な排水機場が数多く造成されて、農業農村の排水対策に大きな力を発揮しています。

基幹的農業水利施設数は、地域毎の比較では県内最多数となっています。これらの施設は、1950年代から多くが造成され、土地改良区や水利組合等が管理していますが、平成22年現在、7割強が耐用年数を迎えています。

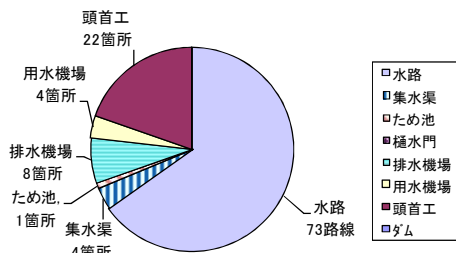


図1 地域の基幹的農業水利施設数

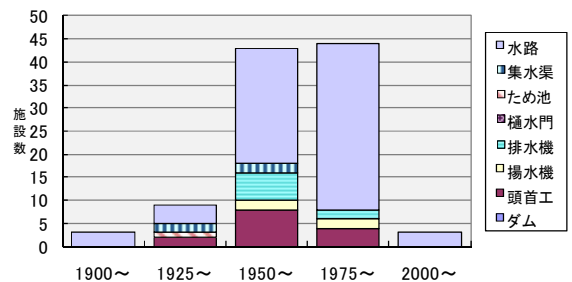


図2 基幹的農業水利施設の造成年度

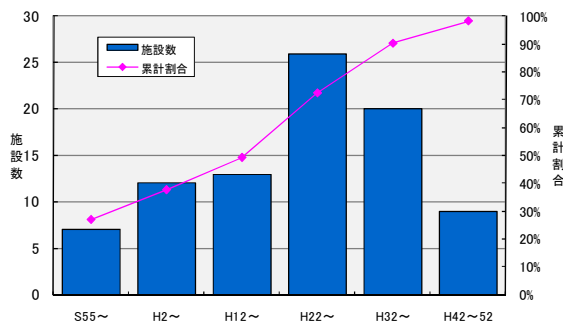


図3 耐用年数を迎える基幹的農業水利施設の推移

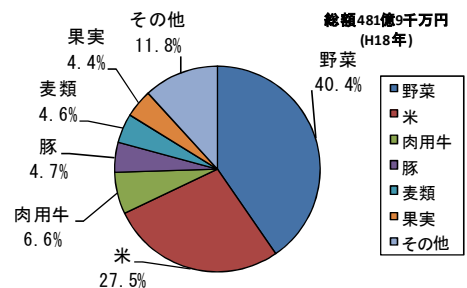


図4 主要農産物産出額構成比



写真1 塩沢排水機場（小山市）



写真2 大岩藤第2揚水機場（岩舟町）

(2) 課題

ア 用排水機場の老朽化の進行

用排水機場については、多くの施設が整備後の年数経過によって、建屋・吸吐水槽に漏水・ひび割れが発生したり、ポンプ・配管・電気設備等の不具合が見られるなど施設の老朽化が進行し、計画的な対策工事が必要となっています。

イ 頭首工の機能低下

頭首工については、流水の影響によるコンクリートの摩耗、老朽化による機器の故障、思川沿いでは河床変動による取水障害が見られる箇所があり、施設機能の低下が懸念されています。また、姿川、巴波川、永野川などには水利組合管理の施設があり、老朽化が進行していますが、経費負担等の問題で更新整備の実施が困難となっている状況にあります。

ウ 維持管理体制の脆弱性

水路については、水質悪化や土砂・ゴミの堆積等の問題を抱えている箇所があります。問題解決に向けて適切な日常管理の実施が必要ですが、組合員の減少や高齢化によって維持管理体制が脆弱化し対応が困難な状況にあります。

(3) 対応策

ア 用排水機場の適切な対策工事の実施

ストックマネジメントを活用し、日常点検・定期的な機能診断で施設の状態を的確に把握しながら、ライフサイクルコストの低減を意識した適切な対策工事を実施します。

イ スtockマネジメントの理解促進と継続的な保全管理の実施

地域委員会などを通じて施設管理者に対してストックマネジメントの理解促進を図りながら、継続的・計画的な施設の保全管理を進めます。また、水利組合管理の施設については、県、市町は、必要に応じて施設管理者への支援・助言を行います。

ウ 地域の共同活動による施設の保全管理の促進

施設の長寿命化を図り多面的機能を発揮させる一つの方法として、地域の共同活動による施設の点検、簡易な補修、泥上げ、草刈り作業等の取組促進を目指します。また、県・市町は必要な協力支援を行います。



ため池百選 大沼(小山市)



小藪集水渠(壬生町)

【ため池百選】

大沼は、大正時代に造成された受益面積347haの農業用ため池です。地域の重要な水源としての機能、歴史文化的価値、生態系保全・地域活動の場としての貢献度等が評価され、平成22年3月30日に農林水産省「ため池百選」に選定されました。

【歴史的農業水利施設】

小藪集水渠は、地域の水不足を解消するために、昭和8年に思川左岸に造られた地下水を取水するための農業水利施設であり、建設から約80年を経過した現在も、228haの農地の重要な水源として活用されています。